

時評

住み心地には満足しているという。マンションを売却したの

は、両親の介護をするため実家に戻るようになった中年の夫婦だという。国土交通省の調査によると

マンションリノベーションの将来性

し、その後の職人手当ての上昇も相まって、新築マンションの価格が高騰した。そうした事情も中古マンション人気に拍車を掛けた。

マンションは戸建てと違い、住戸が密接しているため、工事は短納期で、かつ騒音やほこりが出ないようにしなければならぬ。資材や工

だが首都圏のマンションのリノベーションニーズをつかむには、機能だけでなく、多様なデザインニーズに対応することも必要だ。木材業界ならではの知恵を絞り、この成長市場にうまくかわる企業がでていけばと思う。

同プロジェクトは、ヒートショックや住まいの寒さなどに関する理解と対策方法を社会に広め、一人でも多くの人に危険を回避してもらうため、対策の啓発を目的とした企業協働の活動を開始している。

アスナビで辻川 選手採用内定 内田洋行 (東京都、大久保昇社長) は、日本オリンピック委員会(JOC)が実施する

売上高は前回実績上回る

営業体制の強化を進める

DMBのスーパーセール2019

大日本木材防腐(名古屋)市、鈴木龍一郎社長は、8月21日〜9月20日に実施した「DMBスーパーセール2019」の結果を発表した。

ぞろえにに応じた販売を記録した。四国を含む西日本営業(3億9838万3000円、7608立

木材営業部門の売上高12億1010万3000円(2万1088立方)は、前回売上高(11億6330万円、1万9288立方)を上回ったものの、外材製品の値崩れでセール期間後半に伸び悩み、目標の12億5200万円には届かなかった。

会場を設けたセールは、四国(8月22、23日、92社116人)場)会津(同28日、67社92人)名古屋(9月5、6日、170社308人)で開催した。

高周波フラッシュ接着機が技術優秀賞 作業者の負担を軽減 山本ビニター



高周波フラッシュ接着機 山本ビニター(大阪)を受賞した。送りシートをテフロン(フッ素樹脂)に変えて上下板の掃除を簡単にし、作業者の負担を軽減した点が評価された。

「外材製品の港頭在庫が各地で増えるなど、下期の販売環境は上期以上に厳しくなるはずだ。2021年に控える創業100周年に向けては今回のセールのテーマにも掲げた顧客との接点を意識した営業体制の強化が不可欠で、今後は増員にも対応したい」と話している。

ヒートショック対策 啓発活動に参画 ノーリツ(神戸市、國井総一郎)は、社会問題の一つとして注目される「ヒートショック」に関する正しい理解の浸透と対策を促進するため、複数企業が共同で取り組む「STOP! ヒートショック」プロジェクトに賛同し、啓発活動に参画する。

同社はガス温水暖房付ふる給湯器GTH-Cシリーズとガスふろ

後に表面材を重ねた際、後に表面材を重ねた際に焦らずに位置決めができる。また、高周波接着の条件値を加熱時間、養生時間、電流値、加圧力、同調位置、ざらし動作の6ポイントで設定可能。最大100通り設定条件をメモリに登録でき、そのなかでよく使う種類をタッチパネルで素早く簡単に切り替えられる。さらに木工ボンドを使用してもわずか30秒で接着が完了するほか、高周波で接着剤だけ加熱するため、変形や反りが少なくなる。そして、高周波接着は、わずか数十秒という短時間の加圧のため、表面材が圧縮されることが少なく、芯材痕が表面材に出にくい。